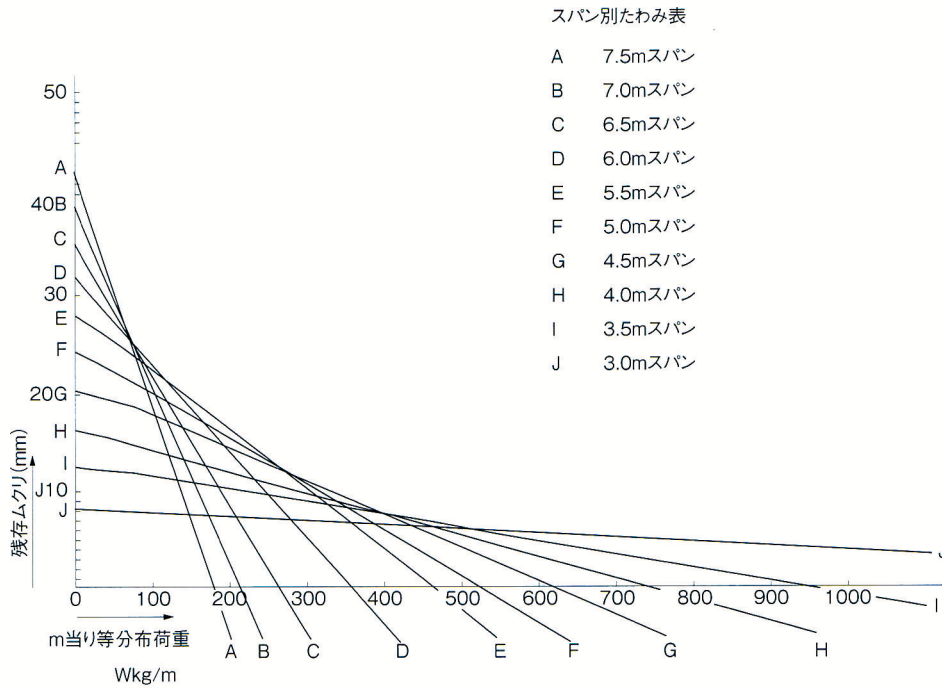


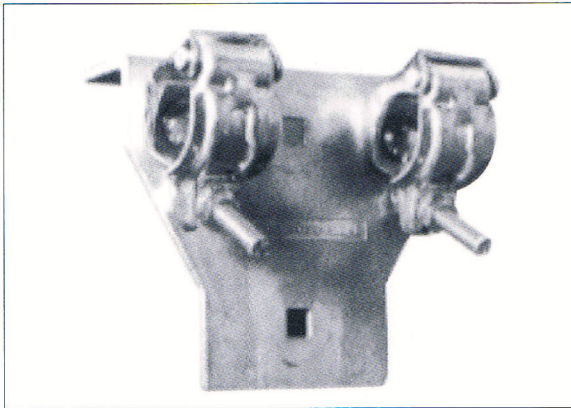
●残存ムクリ表



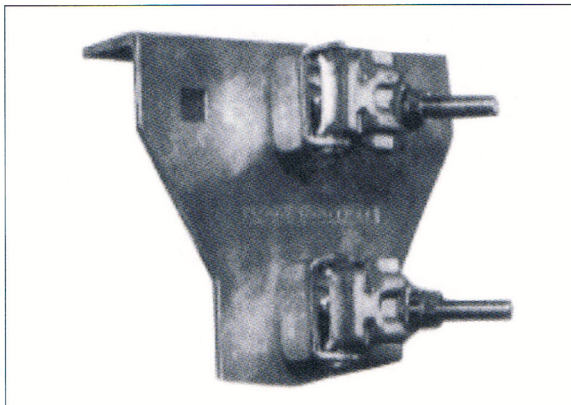
ペコ・ビームには固有のムクリがつけてありますから、これを組み立てますとスパンに応じた所要のムクリができるようになっていきます。コンクリート荷重が加わりますと、ムクリは戻り水平になります。  
 ※m当りの等分布荷重0の位でのムクリ量が各スパン毎の無負荷時の適正ムクリ量です。

■ビームブラケット

●水平



●垂直



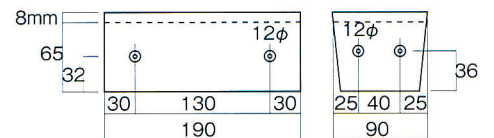
●使用方法

- I. ビームブラケットに対し垂直方向の荷重である事。垂直荷重はビームブラケット1ヶ700kgまでとする。  
(4個使用の場合2800kg)
- II. ビームブラケットの荷台受、クランプ、取付ボルト、他の部の曲がり直して使用してはならない。
- III. 弊社指定のクランプ、クランプ取付けボルト、ビーム取付けボルトを使用すること。

●再使用の場合

変形したもの。割れ、ヒビの入ったもの。腐食により肉厚が5.2mm以下になったものは使用してはならない。ほうり投げたり、落下させないこと。

●ビーム穴あけ寸法



ペコビーム  
ビームブラケット